第14回潜熱工学シンポジウム 講演プログラム

11月26日(水)

9:20- 受付 10:00-10:10 開会の挨拶 セッション1 【蓄熱物質・PCM①】座長:浅岡 龍徳(信州大) 10:10-10:30 G01 ステアリン酸をベースとした融点 100℃以上の相変化	
セッション1 【蓄熱物質・PCM①】座長:浅岡 龍徳(信州大) 10:10-10:30 GO1 ステアリン酸をベースとした融点 100℃以上の相変化 ○開原 伊吹(岡山大), 磯部 和真(岡山大), (岡山大)	
10:10-10:30 G01 ステアリン酸をベースとした融点 100℃以上の相変化 ○開原 伊吹(岡山大), 磯部 和真(岡山大), (岡山大)	
〇開原 伊吹(岡山大), 磯部 和真(岡山大), (岡山大)	
10.00 10.50 000 No. 11.1 15.7 17.8 Auto-	
10:30-10:50 G02 キシリトール-エリスリトール系の混合糖アルコール ○合田 理人(青学大), 松本 侑樹(青学大院) 寛之(青学大)	
10:50-11:10 G03 カルボン酸アニオンを持つセミクラスレートハイドレ ○菅原 武(阪大院基礎工), 津ヶ谷 璃子(阪ス 基礎工), 平井 隆之(阪大院基礎工)	
11:10-11:30 G04 多孔質体内 CO ₂ ハイドレート生成に伴う温度変化を	用いた生成量の推定
	ã垣 照美(茨城大), 染矢 聡
(東京電機大)	
11:30-13:00 昼休憩	
セッション2 <招待講演> 座長:川南 剛(明治大)	
13:00-13:50 IL1 防災数学の最前線	
○矢崎成俊(明治大)	
13:50-14:00 休憩	
セッション3 【凝固・融解・霜】座長:岡部 孝裕(弘前大)	
14:00-14:20 G05 撥水性冷却面を用いたエアブロー除霜機構の実験的語	平価
○金子 平(明治大院), 堀井 克則(明治大),	川南 剛(明治大)
14:20-14:40 G06 除霜時における融解水挙動	
〇松本 亮介(関西大), 藤川 直人(関西大),	小田 豊(関西大), 栗田 圭輔
(原子力機構),飯倉 寛(原子力機構),原山	勲(原子力機構)
14:40-15:00 G07 酸の種類及び pH が凍結乾燥食品の発泡に及ぼす影響	<u> </u>
○赤司 俊(信州大院), 植木 啓太(信州大院)	, 浅岡 龍徳(信州大), 武内
研史(アスザックフーズ), 早川 菜保美(アス	ザックフーズ), 山田 朋美(ア
	ぶ), 杉浦 良賢(アスザックフ
スザックフーズ), 唐澤 陸央(アスザックフー	
スザックフーズ), 唐澤 陸央(アスザックフー ーズ)	
	対流の可視化計測
ーズ)	
ーズ) 15:00-15:20 G08 凝固・融解現象を伴い水平円筒容器内に現れる自然対	
ーズ) 15:00-15:20 G08 凝固・融解現象を伴い水平円筒容器内に現れる自然対 〇林 正弥(茨城大),李 艶栄(茨城大),稲垣	

		○森田 孝紀(青学大), 森本 崇志(青学大), 熊野 寛之(青学大)
15:50-16:10	G10	熱と流れの同時高速可視化を用いた氷スラリー液滴衝突現象の研究
		○岡部 孝裕(弘前大), 木村 柚葵(弘前大), 越後 洸人(弘前大)
16:10-16:30	Gll	吸収式氷スラリー生成機の設計に向けた製氷プロセスの連成解析
		○五十嵐 瑞規(信州大院),浦 城仁(信州大院),阿部 駿佑(信州大),浅岡
		龍徳(信州大)
16:30-16:50	G12	低温蓄冷を目的としたエマルション生成と相変化観察
		○藤本 真太朗(岡山大院),堀部 明彦(岡山大),山田 寛(岡山大),磯部
		和真(岡山大)
16:50-17:00		写真撮影
17:20-19:20		意見交換会(グローバルフロント 17F・グローバルラウンジ)

11月27日(木)

9:20-		受付
セッション 5		<基調講演> 座長:李 艶栄(茨城大)
10:00-10:50	PL1	Convective flow melting of CO ₂ +TBAB hydrate slurry with complex flow patterns
		○ZHANG Peng (Shanghai Jiao Tong Univ.), YANG Kairan
10:50-11:00		休憩
セッション 6		【潜熱・蓄熱の応用技術】座長:森本 崇志(青学大)
11:00-11:20	G13	蒸発部にねじりテープを挿入した密閉二相熱サイフォンの伝熱特性に及ぼす傾斜角度
		の影響
		○橋本 大治朗(茨城大),谷田貝 友哉(茨城大),松村 邦仁(茨城大)
11:20-11:40	G14	相変化を伴う気液混相噴流の熱力学的手法を用いた状態評価
		○富樫 憲一(北海道立総合研究機構), 朝原 誠(岐阜大)
11:40-12:00	G15	吸着材蓄熱システム"メガストック"の実証・実用化
		○谷野 正幸(高砂熱学),大山 孝政(高砂熱学),鎌田 美志(高砂熱学),川上
		理亮(高砂熱学)
12:00-13:30		昼休憩
セッション7		【蓄熱物質・PCM②】座長:春木 直人(岡山県立大)
13:30-13:50	G16	二酸化バナジウム粒子のマイクロ凝集体による高密度潜熱蓄熱
		○磯部 和真(岡山大),山内 翔斗(岡山大),山田 寛(岡山大),堀部 明彦(岡
		山大)
13:50-14:10	G17	固体-固体相転移材料から構成されるハイブリッドヒートシンクの放熱特性
		〇堀江 麗央(明治大院),川南 剛(明治大学)
14:10-14:30	G18	チオ硫酸ナトリウム水和物の過冷却特性
		○飯島 壮琉(青学大), 森本 崇志(青学大), 熊野 寛之(青学大)
14:30-14:50	G19	相変化物質(PCM)を含む TIM の熱抵抗評価
		○垣内 幸太(茨城大),宮部 琉成(茨城大),松村 邦仁(茨城大)
14:50-15:00		閉会の挨拶